

2018年7月18日

「学校における省エネ教育プログラム」の実証校募集開始について ～最先端の環境教育プログラムへの参加者を1500名募集～

東京ガス株式会社
株式会社住環境計画研究所

東京ガス株式会社（代表取締役社長：内田 高史、以下「東京ガス」）と株式会社住環境計画研究所（代表取締役会長：中上 英俊、以下「住環境計画研究所」）は、昨年度よりスタートした「学校における省エネ教育プログラム」（以下「本プログラム」）の2019年度実証校募集を、本日より開始します。なお、今年度については、中学校・高等学校に加え、小学校の実証校募集も行います。

東京ガスと住環境計画研究所は、環境省の実施する「低炭素型の行動変容を促す情報発信（ナッジ*1）等による家庭等の自発的対策推進事業*2」の一環である「生活者・事業所・地域社会の『三方良し』を実現する日本版ナッジモデルの構築」に共同参画し、プログラムの開発および実施をサポートしています。

本プログラムは、アクティブラーニングの視点を念頭においた「主体的・対話的・深い学び」を行動科学などの先進的な知見を用いながら、学校教育に容易に導入できるように開発されています。生徒が自ら実感・体感するだけでなく、各家庭での電気・ガス・水道メーターの読み取り値や、取り組んだ省エネ行動の成果を記入する「行動プランシート」の内容などから、教育による省エネ効果を定量的かつ定性的に評価できることが特徴です。

本プログラムは、今後の環境教育の推進方法を検討する上で重要な位置づけになることが期待できます。

東京ガスと住環境計画研究所は、今後とも、省エネ行動の普及活動により、家庭でのCO2削減を推進してまいります。

*1 ナッジ：(英語 nudge)「ひじで軽く突く、そっと後押しする」という意味で、人々が自発的に望ましい行動を選択するよう促す仕掛けや手法を示す用語。

2017年には、シカゴ大学のリチャード・セイラー博士がナッジ理論でノーベル経済学賞を受賞しています。

*2 環境省が2017年度から2021年度まで段階的に実施を予定している事業。

環境省ホームページ：<https://www.env.go.jp/press/105325.html>

【募集概要】

1. 募集期間：2018年7月18日(水)～2019年8月31日(金)

※既定の応募数に達した時点で、応募を締め切らせていただきます。

2. 募集対象：全国の小学校(4～6年生)・中学校・高等学校(全学年)の生徒(全体で1,500名程度募集)

3. 実証期間

下記期間のうち、約4～6週間(記入済行動プランシート回収までを含む)

(1) 2019年5月13日(月)～2019年7月31日(水)

(2) 2019年8月26日(月)～2019年11月30日(土)

※夏休み期間は実証事業の対象外とするため、(1)もしくは(2)内で授業が完結するものとします。

4. 応募条件

(1) 本教育プログラムの授業4～6時間分の実践が可能なこと(別紙1・2参照)

・中学校、高等学校 短縮版 4時間授業

・小学校 標準版 6時間授業

(2) 実践する授業で生徒が作成する下記資料の提出が可能なこと

・省エネ博士からの挑戦状

・メーター記録シート

・選択授業行動プランシート

・新聞制作課題

・実践授業の様子を撮影した写真(2～3枚)

・アンケート(先生が記入)の提出(予定)。

※授業に必要な教材などは、事務局より支給(無償)します。

5. 応募に関する問い合わせ先

「学校における省エネ教育プログラム」運営事務局(ロケーションリサーチ内)

住所：〒104-0033 東京都中央区新川2-6-2

電話：03-5244-9484(平日10:00～17:00以外は留守番電話対応)

FAX：03-5244-9484 E-mail:sawai@location-research.co.jp

担当：粟井(あわい)

以上

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

東京ガス株式会社 広報部 報道グループ 猪原 TEL：03-5400-7675

株式会社住環境計画研究所 矢田 TEL：03-3234-1177

中高生 短縮版 プログラムの内容 (教師用解説書から抜粋)

■学習の流れ

時間割り		小題材名及び目標	主な学習活動	○導入している主な手法 ■評価の観点
1 時間目	ステップ 1	【事前学習】 家の電気・ガス・水道のメーター を読もう	・家の中で様々なエネルギーを使用していることに 気づき、電気、ガス、水道メーターの設置場 所、メーターの数値の読み取り方を知り、記録 できる。	○ドリル学習、ナッジ、行動 変容ステージモデル ■知識及び技能
	ステップ 2	【課題発見学習】 地球環境問題と省エネルギー の関係とは?	・地球温暖化に伴う気候変動の結果、様々な地球 環境問題が起きていることに気づき、新聞作成 のための調べ学習を通して、地球環境問題への 理解を深めることができる。自分たちの生活の 中でできることをまとめ実践できる。	○ ナッジ、行動プラン、行動 変容ステージモデル ■ 知識及び技能 ■ 思考力・判断力・表現力等
2 時間目	ステップ 3	【解決方法の検討と計画】 自分ができる省エネ行動はな んだらう?	・もったいないエネルギーの使い方をしていないか どうか気づき、どのような使い方が省エネルギー につながるのかを仕組みと併せて理解すること ができる。 ・自ら省エネ行動の大切さに気づき、省エネ行動 を家庭や学校で実践できる。	○ ナッジ、行動プラン、行動 変容ステージモデル ■ 知識及び技能 ■ 思考力・判断力・表現力等
	ステップ 4	【課題解決に向けた実践活動】 省エネ行動を体験・実践してみ よう ※右記プログラムから1つ以上 お選びください。	・電気(節電):照明や身近な家電製品の電力消費 量を計測することで、節電対策について体感 する。 ・ガス(エコクッキング):ハッシュドポークの調理 を通して、エコクッキングの手法を体感する。 ・水道(節水):上手な食器洗浄方法を体験し、 水や湯、洗剤を上手に使う方法を体感する。 ・全般(省エネ行動トランプ):生活と環境とのかか わりから、家庭でできる省エネ行動を体感する。	○ ナッジ、行動プラン、行動 変容ステージモデル ■ 知識及び技能 ■ 思考力・判断力・表現力等
4 時間目	ステップ 5	【実践活動の評価改善】 持続可能な社会に向けて発信 しよう	・これまでの調べ学習を通して作成した、新聞を 発表し、お互いの理解を深めるとともに、自分 の省エネ行動をコミットする。 ・メーター記録結果を振り返り、省エネ行動を実 践することで、家庭のガス・電気・水の使用量 がどれくらい減ったかを確認する。	○ ナッジ、コミットメント、 フィードバック、行動変容 ステージモデル ■ 知識及び技能 ■ 思考力・判断力・表現力等 ■ 学びに向かう力・人間性等
	ステップ 6	【事後学習】 提出物の確認	・メーター記録シート、省エネ博士からの挑戦状 他、未提出物の提出。 <追加体験学習(任意)> ・エコな買い物&調理ゲーム:環境に配慮した買い 物と調理について、疑似体験を通して体感する。 ・エコな住まい方すごろく:住環境の機能や問題 点を知り、生活の工夫や改善方法を体感する。	○ ナッジ、行動変容ステー ジモデル ■ 思考力・判断力・表現力等

小学生 標準版 プログラムの内容 (案)

■学習の流れ

ステップ	小題材名及び目標	主な学習活動	○導入している主な手法 ■評価の観点
ステップ 1	【事前学習】 家の電気・ガス・水道のメーターを眺もう	・家の中で様々なエネルギーを使用していることに気づき、電気、ガス、水道メーターの設置場所、メーターの数値の読み取り方を知り、記録できる。	○ドリル学習、ナッジ、行動変容ステージモデル ■知識及び技能
ステップ 2	【課題発見学習】 地球環境問題と省エネルギーの関係とは?	・地球温暖化に伴う気候変動の結果、様々な地球環境問題が起きていることに気づき、新聞作成のための調べ学習を通して、地球環境問題への理解を深めることができる。自分たちの生活の中でできることをまとめ実践できる。	○ナッジ、行動プラン、行動変容ステージモデル ■知識及び技能 ■思考力・判断力・表現力等
ステップ 3	【解決方法の検討と計画】 自分ができる省エネ行動はなんだろう?	・もったいないエネルギーの使い方をしていないかどうか気づき、どのような使い方が省エネルギーにつながるのかを仕組みと併せて理解することができる。 ・自ら省エネ行動の大切さに気づき、省エネ行動を家庭や学校で実践できる。	○ナッジ、行動プラン、行動変容ステージモデル ■知識及び技能 ■思考力・判断力・表現力等
ステップ 4	【課題解決に向けた実践活動】 省エネ行動を体験・実践してみよう ※右記プログラムから1つ以上お選びください。	・電気(節電): 照明や身近な家電製品の電力消費量を計測することで、節電対策について体感する。 ・ガス(エコクッキング): ハッシュドポークの調理を通して、エコクッキングの手法を体感する。 ・水道(節水): 上手な食器洗浄方法を体験し、水や湯、洗剤を上手に使う方法を体感する。 ・全般(省エネ行動トランプ): 生活と環境とのかかわりから、家庭でできる省エネ行動を体感する。	○ナッジ、行動プラン、行動変容ステージモデル ■知識及び技能 ■思考力・判断力・表現力等
ステップ 5	【実践活動の評価改善】 持続可能な社会に向けて発信しよう	・これまでの調べ学習を通じて作成した新聞を発表し、お互いの理解を深めるとともに、自分の省エネ行動をコミットメントする。 ・メーター記録結果を振り返り、省エネ行動を実践することで、家庭のガス・電気・水の使用量がどれくらい減ったかを確認する。	○ナッジ、コミットメント、フィードバック、行動変容ステージモデル ■知識及び技能 ■思考力・判断力・表現力等 ■学びに向かう人間性等
ステップ 6	【事後学習】 提出物の確認	・メーター記録シート、省エネ博士からの挑戦状他、未提出物の提出。 ＜追加体験学習(任意)＞ ・エコな買い物&調理ゲーム: 環境に配慮した買い物と調理について、疑似体験を通して体感する。 ・エコな住まい方すごろく: 住環境の機能や問題点を知り、生活の工夫や改善方法を体感する。	○ナッジ、行動変容、ステージモデル ■思考力・判断力・表現力等

※ここに提示したものは、昨年度の中高生で実施したプログラム内容となります。授業の流れは変わらないものの、プログラム詳細は変更となりますのでご了承ください。